



大四小だより

練馬区立大泉第四小学校

令和6年度 6月号

校長 岩崎 広明

学校で学ぶもの

校長 岩崎 広明

明日は大泉第四小学校の運動会です。子供たちはゴールデンウィーク明けから練習が始まり、明日の本番に向けて頑張ってきました。明日はその成果を見てもらい、たくさんの励ましの言葉を子供たちにいただければ幸いです。お忙しい中とは存じますが、参観、応援、よろしくお願ひします。

さて、学校では日々、子供たちが勉強や生活、その他のたくさんのことを学習していますが、何を学ぶのか、どのように学ぶのか、何ができるようになるのかということが大切です。次のようなお話で少し考えてみたいと思います。

昔々の中国のお話です。ある村に一人の少年がいました。その少年はとてもお腹が空いていたので、川で釣りをしている老人に「魚を一匹ください。」とお願ひをしました。しかし、老人はそれを断り、少年にこう言いました。「私がこの魚をお前に与えれば、とりあえずお前の飢えは満たされる。しかし、また腹を空かせることになるだろう。だから、魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えてやろう。そうすれば、お前は一生食べていくことができるだろう。」

この話は、「魚を一匹与えれば一日腹が満たされる。釣り方を教えれば一生腹が満たされる。」ということわざの元になったお話です。

子供たちは、学校生活を通してたくさんの「釣り方」を学び、身に付けていきます。算数の計算の仕方を理解することを通して、数が変わっても正しく答えを出せることを学びます。様々な行事を通して、人と人が協力する方法、精一杯頑張る方法、喜びを分かち合う方法を学びます。

これからも「釣り方」を学び、いろいろな場面でそれを応用する力を付けていきたいと思っています。

最後に、5月25日は大泉第四小学校の開校記念日でした。今年度開校から57年を迎えました。以下、その歴史を簡単に記します。

大四小が開校するまでは、この地域の子供たちは大泉小、大二小、大三小に通っていました。児童数の増加に伴い、ぜひこの地に新しい学校をとという地域の熱い要望の元、昭和42年に開校しました。

開校にあたっては、地主さんが先祖より受け継いできた大切な土地を学校用地として提供してくださいました。しかし開校当時の校庭は石ころだらけ、風が吹くと赤土が舞い上がり、朝礼台も周りの木もありませんでした。そのため、足場が悪いということで入学式は屋上で行ったそうです。また卒業式は職員室で行いました。（当時は体育館がなかったため）

殺風景な校庭を美化しようという地域の声が高まり、桜、梅、けやきなどの木々が寄付されました。そして、花壇、池、垣根のバラなども整備されました。

大四小が今年57周年を迎えることができる陰には、このような人々の熱意と努力があったのです。子供たちには、自分の学校のことをよく知ること、地域と学校を愛する気持ちを育てていきたいと考えています。